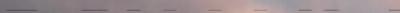


ツラたのしい



新しいことを始めた。

モチロン、全くできない。できない姿を見られるのは
恥ずかしいし、できない自分に気づくことはツライ、で
きない私は格好わるい。ダサイのはいやだ。

この新しく始めたこと、私だけが圧倒的にできません。
例えるなら、クラス全員、逆上がりができるのに私だけ
ができない、そんな状態そんな感覚。

しかも私を取り囲んだみんなが、手をたたきながら「が
んばれ！ がんばれ！」って。あー。さあ、どうする、私？

お腹が痛いといって休もうか？ 手を怪我けがしたフリ
だって有効だ。

……。そんな風に、逃げ出すことがいやなのではなく

て、このままだったらずっとこのままな事が、変わらな
い自分が、いやなんだ。

うん、せめて順番が最後になるよう列の後方にまわろ
う。その間に、上手な子のやり方を見てイメージトレ
ーニングとかけて。

しまった、これは選択を誤った。これじゃあ私の番が
来るまでドキドキしつ放し……。はああ……。

そして、今日もできなかつた。ついに、できないのは私
だけで。

大人になって、できることをもつとできるようにやっ
てきた。好きなことを好きなだけやってみた。だから
私は、人生の中でこの新しい「もつとも不得意なこと」
をしている自分は想定すらしていなかった。自分の中

に占める、こんなにも大きな恥ずかしさやツラさ。だけれど、こんなことはそんなに長くは続かないことも、ここを突破しないと「できる入口」にすら辿り着かないことも知っている、やっぱりできるようにになりたい、大人だし。

「若いもんはすぐ諦めるっ。」と簡単に叱咤するけれど、若さは、何をやっても楽しい、着飾れば格好よくなる、何だって似合う。けれど、みんな、今をどうにかしたいと、将来自分の成すべき何かを探しながら、無限大の可能性と絶対的な経験値のない現状と現実にもがいていて。ただ、今時の若いもんは、それを知られるのは格好わるいと隠してしまうだけなんです。

今の「こんなできない私」、格好わるいなんて、とつくに通り過ぎていくよ。けれど、格好わるい姿なんて

……よし、余裕で引き受けよう！

さあっ！

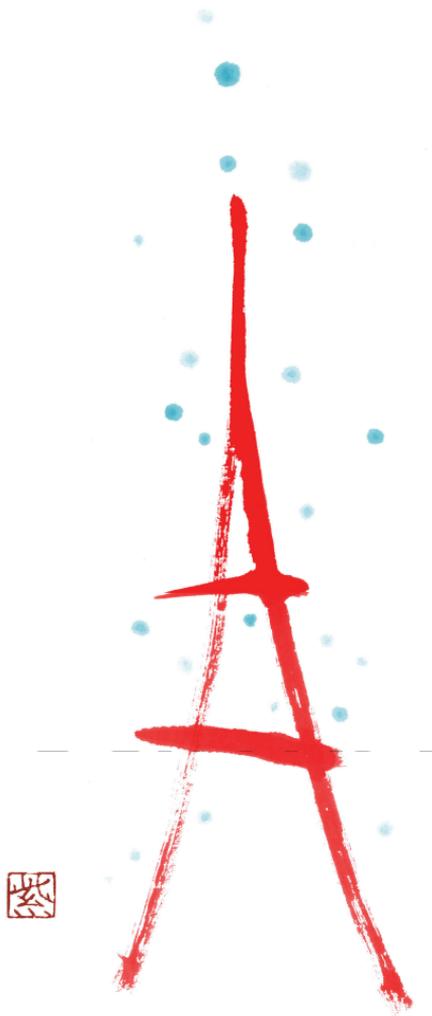
地面から45度しか上がらなかった体は徐々にその傾斜度を高め、そして風景がまわった。ついに空と地面が見えた！

少しだけど、できるかもしれないことに気づけた瞬間！

ついに第一歩を踏み出せた！

—— こういうの、生きてることを痛感する。その姿は、ただ一所懸命だなあ。

…… あ、補助台ありだけどね。



『東京タワー』

雨降りの街灯に照らされた雨粒の美しさに見とれることがある。
東京タワーは上へと向いて夜空を照らす。
だからそこに舞い落ちる雨は一段と、輝きを放っているんだね。



積極的に「ノーマンキューー！」

「イエスプリーズ」と「ノーサンキュー」。

この言葉は子供でも知っている。けれど、一応学校では、

「イエスプリーズ」||「はい、お願いします」

「ノーサンキュー」||「いいえ、結構です」

と教えてくれる。

私も他の子同様、教わらなくとも知ってはいたけれど、
中学校1年生の英語で習ったときにはすでに、「ノーサン
キュー」が「いいえ、結構です」ではないことには気
づいていた。

だって、「サンキュー」||「結構です」じゃないわけだから。
「サンキュー」は、やっぱり「ありがとう」なわけで。

その時「ノーサンキュー」がもつ言葉の力を知った。英
語のもつセンスのよさ。温かな気持ち。最優先は思い
やり！

そして好きな言葉のひとつになった。

それにしても、これを日本語に翻訳した人のセンスは
……うーんっ(コホンっ)。もちろん「結構」にもいろ
んな意味があるのだけれど、やっぱり、「ノー、だけど、
ありがとう」としてほしかった。本当にそう思う。「い
いえ」という否定の中にも、感謝の言葉、しかも遠回り
ではなく、ただ真っ直ぐに、その想いを、「ありがと
う」という言葉で入れてほしかった。

とはいえ、昨今の日本はちょっと違う！

英語はスピーチでもアナウンスでも最後に「サン

キュー」と必ず言っていることは、耳にしていたけれど、最近の日本だって、文末や話の最後に「ありがとうございませう」と発しているコトや人が、増えてきている気がする。昔なら謙遜した言葉や恐縮した文言が並べられたけれど。

言葉の最後に「ありがとう」を入れるこの流れは、きっと、若い人たちを中心に広がってきたと思う。

どうあれ、こんなふうにならぬに「いい」と感じることは、どんどん増やしていきたい。受け入れていきたい。使っていきたい。

中学校でこの言葉に気づいて以来、何かを断るときには、「いいです、ありがとう」と意識して言うようにしている。正確に言おうと、言いたいと意識している。言えてるかどうかは、わからない。だけど、気持ちはいつも「ノーサンキュー」!

だから、エツブリバディー!

積極的に、「ノーサンキュー!」っでいきましょう!

ありがとうー!

いつもありがとう。



「いつもありがとう。」

近しい人への「ありがとう」はなぜだか遠い。ちょっと恥ずかしくて。だから照れかくしに、ちっちゃな「っ」をいれて「いつもありがとう。」勇気を出して伝えた一回のありがとうのその奥には沢山のいろんなありがとうが隠れている。